

(15) 事業者へのヒアリング (その2)

■ 環境美化・地域貢献の会社理念が全社員に浸透し、自主的な取組が展開

／株式会社 豊田自動織機

取組のポイント

- 「各国、各地域の文化や慣習を尊重し、経済・社会の発展に寄与する」という基本理念のもと豊かで健全な社会の実現とその持続的発展のために、事業活動を行うあらゆる地域において「良き企業市民」としての役割を果たし、積極的な社会貢献活動に取り組んでいる。この企業理念は経営層の深い理解をベースに徹底的に実践されている。
- また、(株)豊田自動織機が「地域懇談会」を主催しており、地域住民や行政の意向把握、情報交換を行うなど、地域・行政とともに三位一体で行われている。

① 幅広い景観形成活動により地域住民と良好な関係を保つ

【取組内容】

○職員、OB、グループ企業等が社内外で清掃活動に自主的に参加。清掃活動は以下のようなグループ単位で行われており、自社敷地周辺だけでなく、公園や駅などの公共施設周辺の清掃活動も実施。

職制会

自己啓発・交流を目的に、会社の職位別に会費制で運営されている組織。「部長会」「班長会」などがあり、従業員とその家族がその活動に任意参加

豊田自動織機織友会

従業員OBで組織



○工場周辺には緩衝緑地帯を設け、工場内の空地・駐車場周辺も緑化を徹底。



刈谷工場

工場沿道とは思えない緑豊かな環境



大府工場

工場敷地周辺を従来の柵でなく、土と木により、やさしく開放的な設えにしている



高浜工場

工場内を緑化



大府工場

鉄道からの見え方に特に配慮

- 工場等の建替えでは、画一的なガイドラインに基づくのではなく、周辺との調和を図ることが設計の基本。



- 外から見て違和感のある設備を景観に沿う様配慮したり、看板類も工場への誘導を目的としたものに限定。看板の表示自体も控えめにするなどの配慮。

② 事業者が中心となった地域住民及び行政の意向把握・情報交換の場づくり

- 「会社と地域住民は同じ地域で共生する」という考え方のもと、自由に意見交換し諸問題の共有と解決を図るために工場単位で「地域懇談会」を年2回実施している。
- 「地域懇談会」の運営は、(株)豊田自動織機が行っており、テーマによっては行政や議員にも参加してもらっている（トヨタグループでは一般的な取組）。
- この他に、工場夏祭りの行事などを地域と協働で実施しており、そのための相談を頻繁に行うことにより、地域住民の意向把握や情報交換を行っている。



(株)豊田自動織機

事業内容 : 自動車、産業車両、物流、繊維機械等

本社所在地 : 愛知県刈谷市豊田町2丁目1番地